

## 生駒山麓公園再整備による地域活性化のための基盤整備検討懇話会 第4回会議録

### 1. 日時

令和8（2025）年1月13日（火） 14：30～16：00

### 2. 場所

生駒市コミュニティセンター 4階

### 3. 参加者

#### 【有識者】5名

佐野修久氏、武田重昭氏、佐々木啓氏、高松俊氏、領家誠氏

#### 【事務局】5名

米田建設部長、巽みどり公園課長、高橋みどり公園課課長補佐、関口みどり公園課主任、  
塩田みどり公園課事務員

#### 【欠席者】1名

船本淑恵氏

#### 【傍聴者】

なし

### 4. 議事

#### 1) 開会

・事務局より開催挨拶

#### 2) 案件

(1) 生駒山麓公園再整備による地域活性化のための基盤整備検討について

(2) その他

(1) 市民・市外アンケート、事業者ヒアリングについて

- 展示を充実させることで、生物・理科の授業で活用できる。一般市民にとっても、雨天の場合に勉強できるような施設になればよい。ビジターセンターを大きめに設計することで常設の展示場をつくることができるのではないか。
- 学校アンケートについてだが、ソフト、ハードのニーズというのは既存のプログラムやコンテンツのなかでより充実させてほしいものについて回答をしてもらっているのか。
- 質問では、今ないもので新たに希望するもの、あるいは既存のものでより充実を望むものという趣旨で尋ねている。
- 市民アンケートにおけるソフト、ハードのニーズにおいては、既存のものでより充実して欲しいものを訪ねているという理解でよいか。

- その通りである。既存施設のなかに同等の機能、サービスを有するものもあるが、より充実してほしい内容について回答をいただいている。
- 小中学校アンケートはよく利用する団体という枠内でアンケートをとっているのか。
- そのような意図でアンケートを開始したが、アンケート結果では年1回程度と、もくろみとは異なる結果が出てきている。ただ、もともと山麓公園の設置目的のなかに小中学校のニーズに応えるというものが含まれていたため、ニーズ調査としては成立すると考え、結果を掲載している。
- 顕在的、潜在的なニーズを分けて整理したほうが分かりやすくなるのではないか。
- 最終段階において再整理していきたい。
- 学校アンケートは、市内の小中学校の校外学習の場として、ニーズを深堀するという意図であったと思う。現状では、公的サービスの提供を民間の指定管理者に委ねてしまっている状況。今回のアンケート結果をみていると、学校団体が求めるサービスと指定管理者が提供するサービスとの間で乖離があるように思う。次回の指定管理の募集時には、学校団体向けに必要なサービスを提供できるように、体制を改善していく必要があるのではないか。利用状況に、学校間でばらつきがあるのか。
- 利用できる収容人数に制限があるため、山麓公園を使う学校、使う年度の点で、ばらつきが生じている。今後の学校利用の改善について、指定管理者と意見交換を行い、改善を図りたい。
- 日常的に学校に意見確認を行っているのか。
- 今回は教育部局を通じて調査を行った。このような調査は初めてだと思われる。
- 今後は継続して学校意見の把握を行うことが望ましいのではないか。学校利用の改善を通じ、結果的に一般利用に供するサービスの向上にもつながることが期待できる。
- フィールドアスレチックの利用率や質向上を求める声が高い。今回の再整備方針では言及がないが、どのように考えているのか。  
また、事業者ヒアリングではリアルな声も上がっているが、収益部分や民間に期待すること、官民の役割分担について、市が考えていることを教えて欲しい。この点の整理については、今後の官民連携事業の円滑な展開にも関係する。
- フィールドアスレチックは老朽化が激しく、年間の維持費も高騰していることから、全面廃止あるいは一部撤去を検討している。
- 加えて、利用者数という面でもピーク時の半分程度に落ち込んでいる。安全基準を満たしていないという状況もある。このエリアについても、民間事業者の意向を確認してもよいのではないか。
- 民間に期待する部分としては、現在のテニスコートや多目的広場の民間投資を期待している。
- 導入機能イメージや配置案については、行政・民間の役割を明確にできればよいと思う。
- 官民連携については、構想時点ではなく基本計画の策定時に判断していきたい。また、収益エリア以外としては豊かな自然を押し出していきたい。四季折々の草木を楽しみ、公園内の

回遊を促すような整備を目指したい。

- 本懇話会の目的としては、どこまでを決めるべきなのか。配置イメージ案というのはあくまでもイメージで、今後の基本計画で具体的に定めていきたいのか。
- その通りである。配置案についてはイメージ図で、基本構想で確定させるつもりはない。今後の基本計画のベースとなるコンセプトと基本方針案を確定させたい。
- 本懇話会の目的はどのような機能を有する公園なのかを決めていくもので、各機能を山麓公園に落とし込むことができるのかをイメージするための配置案と認識している。
- その通りである。
- 行政側で基本方針を決定し、それに則って来年度以降の基本計画を進めるという理解でよいのか。
- その通りである。今回、提示している基本方針案の3つを柱として進めつつ、基本計画へと進めていきたい。

ただ事務局としても思案中であり、現状の基本方針案ではかなり具体的な要素になっているが、もっと柔軟性を持ったものにしたほうがよいのか、その点については意見をいただきたい。

- 今の方針案は、現状施設ありきの総花的な整備になっている。この方針案では、民間と連携した特化型の整備というような提案は出てくることはない。また、コンセプト案についても総花的な整理になっているが、明確なコンセプトを一つ打ち出すことで、それに伴う拠点の整備、民間との協働をしていく方法もあるだろう。ただ、現状の総花的なもので進めつつ、基本計画でより詳細に内容を詰めていくという方法もありうる。

現状分析と課題の整理についても、現段階ではニーズ調査の結果が反映されているのかわからない。この部分は計画を立てるうえで重要な整理になってくるだろう。

「伸ばすべきターゲット」についても、既存の来園者をベースとした改変というように見受けられるが、特化型の整備であれば、完全に新規の来園者獲得を目指して新しい利用をしてもらうという可能性もあるので、その点についてはどのように考えているのか。

- この部分については根拠となるアンケート部分の整理したスライドが抜けていてわかりにくくなっている。ただ、アンケート等の現状分析から山麓公園の一番の課題となるのは、年1回しか利用してない層が多数を占めることとみなしている。また、施設目的型の来園者が多いこととなっており、まずは利用構造を変えていくことが必要ではないかと考え、既存の来園者をターゲットとしている。基盤ターゲットの部分については配慮しつつも、伸ばすべきターゲットへの改革をしていくことで、おのずと基盤ターゲットのサービス向上、滞在時間の延長につながるのではないかと考えている。有料道路の利用が必須であることも踏まえると、行政側で特化型に整備していくことは難しい。民間提案部分を広く設けることで、特化型の要素を少しでも取り込めるような整備になればよいと思われる。

また、山上遊園地との利用者の取り合いは避けるべきという判断もあり、現状の方針案に落ち着いている。

- 遊びながら学習できる展示は有効な方法のように思う。漫画ミュージアムのような施設があれば来園のきっかけになりうる。また、屋内の遊び場があれば、子育て世代の外出先の選

択肢になるだろう。公園であることから、特定の層に特化したマーケティングは難しいが、子育て世代に特化することで、市民のロイヤリティ、移住促進につながりやすいというような影響もあるだろう。

- アンケートを丁寧にやりすぎたが故に、すべてに答えようとするような計画になっている。民間事業者の意見にあったように、捨てるものは捨てるという決め方が大事。そのときに総花的か特化型かという検討が重要になってくる。総花的に進める場合でも、そのなかに特化型の要素をどうやって取り組むのかというのは検討していくべき。
- 生駒山ブランド、生駒山の資源の特徴が挙げられているが、そのなかでの生駒山麓公園の立ち位置というものを整理すべきだろう。それをふまえた上で、伸ばすべきターゲットを整理していくべきなのではないか。「4 今後の再整備と管理運営の方針」というタイトルになっているが、ハードとソフトの整備内容を基本計画で定めるのであれば、基本構想段階では「今後の再整備の大きな方針」とするだけでよいのかもしれない。
- 第5回に向けてさらに精査していきたい。ただ、基本方針案については、現状ではアンケート結果を参考に具体的に出しすぎてしまっている印象もある。今後どのように進めていくべきかの意見をいただきたい。
- 安満遺跡公園の整備方針では、一般的な方針のところに、「市民とともに育て続ける」という特徴的な要素を追加している。山麓公園ならではの、特化型となる柱となる方針を追加する方向性もある。現状の基本方針案では、他の提案が入り込む余地があまりないように見受けられる。掲げる方針の切り口を利用・機能・テーマにするのかを再考するべきではないだろうか。ただ、「役割を再定義する」という文言からすると、機能を基本方針では掲げるべきではないだろうか。
- 基本方針案の具体性は、懇話会内において行政のイメージを懇話会メンバーに伝えるという意味では有効だと思う。しかし、最終構想のときには具体例を示さずに基本計画での検討とするほうがよいだろう。また、機能と手段を分けて記載するような方法もある。
- 基本方針案については、文章で柔軟性にとんだものを整理して作成していただきたい。
- 福祉のテーマが全く上がっていないが、これは山麓公園の特徴的な部分ではあると思うが、どのように考えているのか。
- この点については検討課題ではあるが、現状示している基本方針を重視しすぎたがゆえに要素としては後退してしまった。
- 日常的に福祉が溶け込んでいるという点では、特徴的な部分なので基本方針等に活かしているのではないか。
- 福祉については、共生等のキーワードで追加するのが良いかと思われる。懇話会は次回が最終回であるが、基本構想としてどこまでを定めるか整理したうえで、今後の展開につながりやすい内容とすることが望ましい。官民の役割分担については、基本構想に位置づけることは難しいが、今後整理していく必要がある。

#### 【欠席者の事前意見】

- ・ 暑さ対策として屋外の屋根があるエリアがあれば、過ごしやすく遊びやすくなるのではない

か。

- ・子育て世代に向けては SNS を活用した情報発信に力を入れるべき。また、若者世代を積極的に誘致できれば、彼ら自身が情報発信者となってくれるだろう。
- ・有料道路の利用が必須となることは、利用のハードルを上げる要因になっている。来園者に有料道路を利用しなければいけない理由を明確に示すことで、快く利用料を払ってもらえるような仕組みづくり（環境整備費という名目での必要経費の見える化など）が必要だろう。
- ・同じイベント・コンテンツばかりでは安心感はあるが特別感に欠ける。季節ごとに特別なイベントなどを実施することで魅力につながる。
- ・目標来園者数や満足度といった数字にとらわれすぎないようにしてほしい（目標人数の固定化など設定には工夫が必要）。
- ・学校団体の利用については、ターゲットとしては有効なもののように思われる。公園に愛着を持ってもらうことにもつながるだろう。
- ・ボランティアガイドなどを活用することで、地域連携の可能性を高めていくべきではないか。
- ・現状施設の動線が就労支援に適したものになっていない。交流空間も必要ではあるが、分けるべき空間というものも存在するはずなので、就労しやすい環境づくりを意識すべきだろう。就労場所としては重要な場所になっているので、今後も継続して事業を進めていただきたい。

## 5. 閉会

- ・事務局より、今後の案内

以上